

なら農業委員会だより

令和2年4月1日発行
発行・編集
奈良市農業委員会
〒630-8580
奈良市二条大路南一丁目1番1号
☎ 0742-34-4776 (ダイヤルイン)

北之庄町「いちじく」
竹村 一美さん
はるみさん



- 令和元年遊休農地解消活動
- 農地中間管理機構を利用しよう (P2)
- 農委・推委の声
- 農業者年金現況届の提出について
- 農業者年金に加入しよう (P3)
- がんばるファーマー No.29
北之庄町「いちじく」 竹村一美さん
- 全国農業新聞
- 筒粥祭～登彌神社～ (P4～5)
- 奈良市賃借料情報
- 農業委員会活動に対するパブリックコメント
- 編集後記 (P5～6)



令和元年 遊休農地解消活動



令和元年は、茗荷町のモデルほ場にて、田原小中学校の生徒と共に、遊休農地解消活動を行いました。子どもたちが植栽し、収穫した野菜を使って、9月30日に田原小中学校にてカレーを調理・会食しました。この日は1～4年生が委員と共に調理に参加しました。心配そうに見守る委員でしたが、子どもたちはとても手際よく驚きました。出来上がったカレーは、全校生徒と教職員・農業委員会委員のみんなでいただきました。あちこちから「めっちゃ美味しい！」と声上がり、おかわり殺到。かなり多めに作ったはずのカレーでしたが、見事完食でした。

「自分で野菜も作ったカレーだから、今までで一番美味しかった！」との嬉しい言葉も貰いました。子どもたちの嬉しそうな笑顔に癒された一日でした。

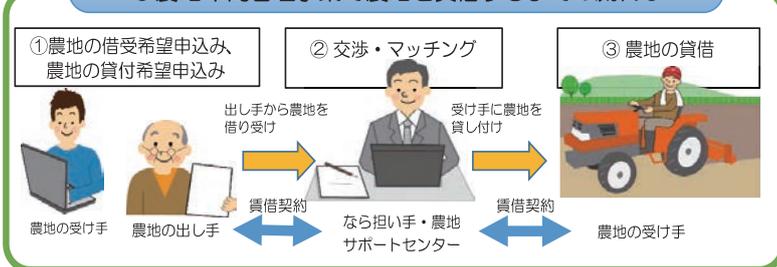
農地を借りたい方、貸したい方を募集!!

「高齢で耕作できなくなった農地を誰かに管理してほしい。」
 「農地を相続したけど農業はしないので、誰かに貸したい。」
 または、
 「農業経営を拡大したいので農地を借りたい。」
 「新規に本格的に農業を始めるので農地を借りたい。」
 と、お考えの方は、なら担い手・農地サポートセンターへご相談ください。
 なら担い手・農地サポートセンターは、農地の出し手（貸したい方）から農地を借り受け、受け手（借りたい方）へマッチングします。

募集期間

出し手（貸したい方）：随時受付
 受け手（借りたい方）：随時受付し、年5回公表します。
 対象農地：農業振興地域内の農地
 ※センターが農地を借り受ける条件は、農地として利用が困難でないこと、十分な受け手が見込めることです。
 ※受け手の氏名・希望地区等をインターネットで公表します。公表は、7月、9月、11月、1月、4月の5回行います。

●農地中間管理事業で農地を貸借するまでの流れ●



【お問合せ先】

公益財団法人 なら担い手・農地サポートセンター
 （農地中間管理機構）
 〒634-0065 橿原市畝傍町53番地
 ☎0744-21-5020
 HP：http://www.nara-ninanou.sakura.ne.jp/
 なら担い手・農地サポートセンターは、法律に基づき
 県知事の指定を受けた公的機関です。
 安心してご利用下さい。

農委・推委の声（※委員につきましては、なら農業委員会だより第64号を参照してください）



向井美典 委員
（上深川町）
農業委員

昨年策定した上深川町「人・農地プラン」は、地元を中心的な経営体へ農地を集積・集約を進め、実質化を前進させています。将来の農地利用に関する意向調査では、個別に農業者と面談し私の立場を身近に感じてもらえました。地域の皆さんと共に農業委員の担うべき役割を果たしていきたいと考えています。



木村好成 委員
（針ヶ別所町）
推進委員
・5区地区長

農地パトロール、研修会を通じ農地利用最適化推進委員の役割を学習し、荒廃農地の解消が最優先され地域の「人・農地プラン」への誘導が最重点事項と認識しています。荒廃農地になった経過・原因を探る事によりその具体策が見つかり、そのプロセスを重視し地域住民等との連携を強化し「知る」「覚える」「動く」「考える」をループし取組む決意を新たにしています。

現況届の提出について

農業者年金受給者の皆さんへ

現況届は、現在受給中の方が引き続き年金を受給する資格があるか否かについて、毎年1回確認するためのものです。

現況届が期限内に提出されないときは、11月の支払いから提出されるまでの間、年金の支払いが差し止められますのでご注意ください。

現況届の提出が必要な方へは、5月末頃に（独）農業者年金基金から現況届の用紙が直接受給権者に送付されます。

提出は6月中旬に、連絡所・出張所・行政センター・農業委員会事務局へ提出してください。

今年、初めて経営移譲年金の現況届を提出される方は、農業経営に関する諸名義が変更されているか確認の上で、提出をお願いいたします。

お問い合わせ

（独）農業者年金基金 給付課

03（3502）3945

奈良市農業委員会事務局

0742（34）4776

●メリットがたくさんある農業者年金に加入して、老後に備えましょう。

加入要件は

- ①年齢要件 … 60歳未満
- ②国民年金の要件 … 国民年金第1号被保険者
- ③農業上の要件 … 年間60日以上農業に従事

上記3つの要件を満たす人は誰でも加入できます。

農地を持っていない農業者、配偶者、後継者などの家族従事者も加入できます。



POINT 1

保険料の国庫補助

特定の要件を満たす農業者には、一定の条件の下で保険料の国庫補助が受けられます。

POINT 2

税制上の優遇措置

- ①支払う保険料は全額社会保険料控除の対象
- ②受けとる年金は公的年金等控除が適用
- ③運用費も非課税

POINT 3

80歳まで保証

仮に加入者や受給者が80歳前に亡くなられた場合でも「死亡一時金」をお支払いできます。



いちじく農家を訪ねて・・・

奈良市北之庄町

竹村 一美さん（71歳）

はるみさん（72歳）

取材当日、ご自宅の倉庫を訪ねるとほのかに甘い香りが漂い、摘んだばかりのいちじく「章姫」詰めの中身に、ご夫婦が笑顔で待っていてくださいました。手を止めて、ご夫婦仲良く掛け合い漫才のように、インタビューに答えてくださいました。

農業規模は8反で、稲作は集落内の農家の方に全て依頼され、いちご・いちじくを中心に果樹栽培されているそうです。ハウスいちごを1反半、露地いちじくを約100本植えられるそうです。いちじくの銘柄は、すべて「榊井ドーヒイン」です。

経営とくらしに役立つ情報をお届けします！
農家のための情報誌「全国農業新聞」

農業者の視点でお届けします

1. 解説に力点をおいた企画編集とニュース報道
2. 農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに
3. 知っておきたい経営・流通情報と経営マインド
4. 読者の心に訴え、ともに考える
5. 老若男女が楽しく読める

・・・その他、農委活動や生活に役立つ情報などを提供しています！

◆発行日 週1回（金曜日） ◆発行元 全国農業会議所 ◆購読料 月700円[送料・税込み]
〇お申込は農業委員会事務局（0742-34-4776）まで。





いちじくの木

肥料は、有機肥料を一年間数回に分けて、120キロをくらい蒔きます。カミキリムシ被害予防に缶入り白色「ガットサイドS」を根元から1本ずつ刷毛で塗ります。時間と労力のかかる作業ですが、かなり害虫予防になるそうです。最近は特に、ヒヨドリ、ムクドリ、タヌキに加えアライグマの被害も増えて困っておられました。

1反に作付けされた100本のいちじくを3回に分けて、8月初めから10月中頃まで、毎日朝4時から7時頃まで収穫し「下三橋いちじく集荷組合」に出荷されています。



いちじく農園のようす

市内に20軒以上あったいちじく農家が現在は2〜3軒に減っており、私達も跡取り、後継者が心配だとおっしゃっておられました。

最後に「私達夫婦、今を楽しんで生きていきますわ」とおっしゃられ、爽やかな気持ちになりました。

ご協力ありがとうございました。

登彌神社〜筒粥祭〜

毎年二月一日(旧暦正月)、登彌神社にて筒粥祭が行われます。その年の五穀や野菜など三十種類の作柄の出来・不出来を粥で占います。鉄製の釜に米二升、小豆一升と竹筒三十七本を入れて炊き、約一時間半もかけて炊きあげます。竹筒を取り出して供え、小刀で割ります。米と小豆の詰まり具合を上・中・下に分け、さらに上・中・下に分類して、計九段階に農作物を占います。今年の中が多かったですが、大豆、ほうれん草出来が良いという結果になりました。

令和二年度 筒粥祭 御占

品種	占	品種	占
ひのひかり	吉山	トマト	吉山
きぬひかり	中	胡麻	中
あきたこまち	中	ピーマン	下
ひじめぼれ	中	あさひめ	下
こしひかり	中	アスカルビー	下
たかさご餅	中	吉野華	上
旭種	上	ゆめのか	中
人參	上	かおり野	下
大豆	上	馬鈴薯	上
黒豆	下	甘藷	下
牛蒡	上	西芋	下
大根	上	里芋	下
小豆	上	瓜	下
大豆	上	まくわ	下
白菜	上	いちじく	中
キャベツ	上	ほうれん草	下
ほうれん草	上	ぶどう	中
南家	上		

以上三十七種

登彌神社

奈良市賃借料情報

地域の実勢にあった賃借料情報を提供いたします。平成31年1月1日から令和元年12月31日までに、農地法及び農業経営基盤強化促進法により賃借契約された賃借料の水準は、下記のとおりとなっております。

なお、この賃借料は目安ですので、実際の賃借料を決める際は、当事者間で話しあいの上で決めてください。※金額の算定については、10円単位（四捨五入）で表示しています。

地域別	令和元年				(参考)
	平均額	最高額	最低額	件数	30年平均額
中部	-	-	-	-	-
西部	15,000	15,000	15,000	8	12,183
南部	7,925	17,699	2,048	19	10,415
東部	7,860	25,550	3,330	41	7,277
月ヶ瀬・都祁	9,067	32,895	2,297	92	8,203
(参考) 奈良市平均	9,963				9,520

※賃借料を物納支給している場合は、米30kg当たり6,813円に換算しています。

地域別	令和元年				(参考)
	平均額	最高額	最低額	件数	30年平均額
東部	13,846	26,294	6,835	3	-
月ヶ瀬・都祁	8,691	11,459	4,998	3	6,858

農業委員会活動に対する パブリックコメント（意見公募） の募集について

「令和元年度農業委員会活動の目標及びその達成に向けた点検・評価」及び「令和2年度農業委員会活動の目標及びその達成に向けた活動計画（案）」を策定しました。つきましては、市内の農業者等の皆様方から意見を市のホームページにて募集いたします。

募集期間

令和2年4月の公開日
1ヶ月間

となっております。

意見の提出方法につきましては、任意の用紙に、意見・住所・氏名・ご意見等をご記入の上、郵送・FAXまたは電子メールでご提出してください。電話や窓口等での口頭での申し出は出来ません。また、いただいたご意見・ご要望に対する個別の回答はいたしませんのでご了承ください。

市のホームページ
郵送の場合

<http://www.city.nara.lg.jp>
〒630-8580
奈良市二条大路南1丁目1番1号
奈良市農業委員会事務局
0742-34-4797
nougyouinkai@city.nara.lg.jp

FAXの場合
電子メールの場合

編集後記

農地利用最適化に向けて、遊休農地解消が大きな課題となっております。JAならけん総会には、荒井奈良県知事からも遊休農地解消に向けて取り組みを促進して欲しいとの話がありました。

当農業委員会では、遊休化している農地を利用した解消活動を毎年実施しております。本誌2ページに詳しく掲載しております。

また、私をはじめ、農地利用最適化推進委員を中心に、農地パトロールや地域での活動に積極的に取り組んで来ました。

さらに農地の貸し手借り手の間を繋ぐ「なら担い手・農地サポートセンター」があります。詳しくは、本誌2ページに掲載しておりますのでぜひ一度相談してみてください。

なら農業委員会だより発行のためにご協力いただいた皆様方、ありがとうございます。

農業委員会では、より充実した紙面で、いっそう親しまれる広報誌づくりを目指し、皆様のご意見・ご感想・情報等をお待ちしております。

提供先は、農業委員会事務局または、地域の農業委員・農地利用最適化推進委員までどうぞ。

農業委員会

第3部門

廣岡政則

